

貧困・格差は！

石下 洋子 議員

答 適宜・適切に対処



石下 貧困と格差が深刻な問題となっている。市は実態把握をしているか。又貧困と格差をなくするためにどう考えるか。

市長 本市レベルで、実態の把握は困難。生活保護世帯、納税者数を見るかぎり、大きな変化はない。国でも、最重要課題として議論されており、注視しながら適切に対処する。

石下 日本の子どもの貧困率（注：平均所得の半分以下の世帯の率）は非常に高く、子どもの成長を阻むだけでなく、貧困が次世代に引き継がれるおそれがあります。特に母子世帯の貧困率は高く、江田島市の扶養手当を受給する母子世帯の平均所得は79万円であり、国はこれら母子世帯の扶養手当を最大半分に減額し、生活保護世帯の母子加算を廃止します。

福祉保健部長 母子加算は、生活保護と一般世帯との格差解消のため廃止されるので、市独自の対策をとるつもりはない。就労支援については、

1万円。5千円の手当が支給されます。扶養手当については、来年度検討します。

石下 非常勤の特別職の報酬及び費用弁償額は年額いくらか。財政難、住民サービスの切り下げ、貧困の広がりを考慮して、減額を再検討すべきでは。

石下 時給600〜800円で働く市民はたくさんいる。会議の委員報酬（5800円）は高いと思います。減額の方で再検討を。



▲すくすくクラブ

交通船事業はどうなる！

胡子 雅信 議員

答 経営の合理化を進める

胡子 赤字事業での年間4・4ヶ月超のボーナス支給は「経営状況を考慮して支給」という条例に反する。一般会計から1億5千万円の繰出しに対する市民への説明は。

HK大河スペンシャル「坂の上の雲」と江田島・呉が今後注目されます。市の観光事業のビジョンを聞く。

退職者による給与総額減額分に対応します。退職手当債（借金）の発行は今のところ考えていない。

市長 昭和三十二年生まれの団塊世代職員は69人。市は退職手当組合に加入しており、本年度までの負担金は給与総額の100分の160。（本年度3億3千万円）積立総額は8億9千万円。来年度は負担金の見直しで負担率は20年度より1000分の240となり、1億6千万円の増額を見込む。

職員の退職金の資金 手当について

故に対する安全対策について
日銀利上げによる影響について
生活航路対策事業について

観光事業
胡子 海上自衛隊呉史料館「てつのくじら館」、朝鮮通信使400周年、N



▲海上自衛隊呉史料館（てつのくじら館）



扇谷 照義 議員

閉校後の利用は

答 地域と協議する

扇谷 昨年度は大須・秋月小学校・沖中学校が統合により閉校し、本年度も小用・津久茂・宮ノ原・沖小学校が統合により閉校となりました。今後、学校施設はどのように使用するのか。また、売却する考えはありますか。

扇谷 春秋冬の休みに中山間部の学校と交流し、施設を利用する考えはあるか。

人口3万人の市に比べ200人ぐらい多い。今後の方針と計画について聞く。



▲宮ノ原小学校閉校式

扇谷 現在、旧沖小学校や鹿川小学校では交流をしています。

ちが勉強する場とか、公民館活動の場として使用できないか。

市長 行財政改革や定員適正化計画に沿って実施しています。県からの事務移譲による事務量も視野に入れ、市民サービスの低下につながらないよう適正化を図ります。

扇谷 必要であれば地域の方と協議します。

職員のスリム化は
扇谷 本市は、合併により職員数が多く、近隣の